

点検・メンテナンスに！！

グラスライニング用 槽内安全具



GL HAKKO CO., LTD.

◆グラスライニング機器用の安全具

グラスライニングは高強度・高耐蝕性を有する複合材料であるが、経年劣化等によりキズ等が入りやすくなる場合がある。また、メンテナンス・点検時に槽内に持ち込んだ機材や道具により損傷する場合もある。

GL HAKKOは長年培った経験からグラスライニング機器、または樹脂・PTFEライニング等の特殊機器をより安全に使用できる槽内安全具を推奨する。



◆槽内入出用梯子

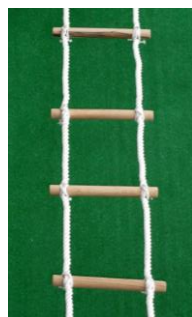
* 推奨耐用年数 3年

グラスライニング機器の槽内に入出しやすい様に、フックによる固定器具が標準で取り付けられており、また機器高さに適した長さ（m）を数種類ラインナップ！！

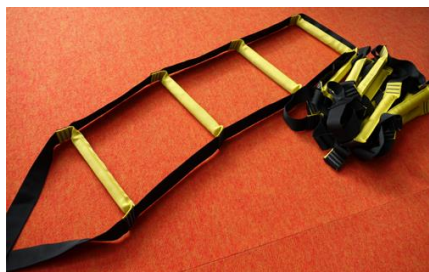
槽内は湿度等により滑りやすく、またキズ等が発生しないように金属ではなく、木製の足置きを採用！！

長さ（m）	3.0	4.0	5.0
-------	-----	-----	-----

セット内容：縄梯子・カラビナ・ケース



その他にも、生物由来材料の使用出来ない環境に適したアルミ製足掛け部をナイロンで覆った特殊ラダーも取り扱い！！



長さ（m）	3.0	5.0
-------	-----	-----

セット内容：ナイロンラダー・カラビナ・リュックバッグ

梯子は専用の収納袋付き！！

* 槽内へ梯子を出し入れする時は十分に注意し、内部壁面等に強く接触させないで下さい。
* 過剰な汚れ、破損、ほつれ等が見られる場合は速やかに使用を止め、新品の購入をお願い致します。

◆ 槽内入出用ハーネス

* 推奨耐用年数 3年

2019年02月から安全帯が「墜落制止用器具」に!!

* 「墜落制止用器具」はフルハーネス型が原則となりました。

- ・ 大容量のGL槽内への出入りには専用のハーネスを推奨!!
- ・ 金属部分は樹脂コーティングにより露出面がない構造!!
- ・ 足回り・腰回りのパーツがスリム化されているため、狭いマンホール口からの出入りも容易!!



槽内出入風景



前面

背面

槽内点検用フルハーネス（サイズフリー）

く槽内入出用ハーネスはこれら問題を解決!!>
容量の大きなグラスライニング槽・樹脂ライニング槽への出入りは高所作業に類似しているためフルハーネス等の墜落制止用器具が必要となる場合がある。しかしながら、出入り口となるマンホールは狭く入出し難い構造であり、また着用している墜落制止用器具の金具によるキズ等の問題も懸念される。

セット内容：フルハーネス・手元リングロープ・ヘルパッグ

- * 釣り固定のための安全ブロックやランヤードは別売りとなります。
- * 過剰な汚れ、破損、ほつれ等が見られる場合は速やかに使用を止め、新品の購入をお願い致します。
- * ラバーコート使用のため体に合わせる時は事前に調整をお願い致します。
- * 原則一人一着の使用をお願い致します。

◆ 槽内入出用安全靴

* 推奨耐用年数 3年

常に使用している安全靴には砂や石が噛みこんでいる事が多い。
砂や石はグラスライニングより硬度が高く、そのまま槽内点検等を行うとガラス面に擦りキズ等を付けてしまう恐れがある。

キズ等の抑制のためにもグラスライニング機器への入出には専用の槽内靴を!!

安全靴サイズ	24.0	24.5	25.0	25.5	26.0	26.5	27.0	27.5	28.0
たび靴サイズ	23.5	24.0	24.5	25.0	25.5	26.0	26.5	27.0	28.0

* 上記に記載のないサイズは御問い合わせください。



安全靴（樹脂先端入り）



たび靴

鉱物種類	ビッカース硬度 (Hv)
GL	520~580
鉄 (SS400)	120~140
角閃石	≒ 600~700
正長石	≒ 700
石英	≒ 1100

砂・石の成分

◆槽内入出用ソフトヘルメット

* 推奨耐用年数 3年

グラスライニング機器への槽内入出は高所から下る場合が多い。もし足を滑らした場合には重大な事故に繋がる恐れもある！！

しかしながら、通常のツバ付きヘルメットでは、入出がし難く、また硬い外面が槽内で接触した場合にキズを発生させる場合もある！！

外面がソフト使用となっている槽内用のツバ無しヘルメットはこれらトラブルを防止し、安全な入出を促す！！

オプション：ヘルメット前面に社名・ロゴの印刷可能！！



背面



横面

<国家検定遵守>

◆その他安全具も販売

- ・ 携帯型酸素濃度計
- ・ マルチ型ガス検知器
- ・ その他安全具



<販売元>



株式会社 **GL HAKKO**
GL HAKKO CO.,LTD.

本社・中津工場 〒871-0003 大分県中津市大字是則1136
九州営業部 TEL: 0979-32-2460 FAX: 0979-32-4134
東京営業部 〒110-0015 東京都台東区東上野4-21-3 3F
TEL:(03)-5830-6432 FAX:(03)-5830-6435
大阪営業部 〒564-0054 大阪府吹田市芳野町 1-4
TEL:(06)-6170-8532 FAX:(06)-6170-8506
富山営業所 〒930-0004 富山県富山市桜橋通り1-18 北日本桜橋ビル5F
TEL: 076-433-5633 FAX: 076-433-5634

● ご用命は

このカタログの内容は製品の機能性向上またはその他の理由により、予告なく変更することがあります。
また、このカタログの記載数値は参考値であり、あらゆる条件に機能を保証するものではありません。

2022-09 Vol.07